

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・既存の商店街や店舗における売上額は下落しているものの、10月にオープンした大型ショッピングセンター内へ新たに新店出たことから、会社全体の売上は上昇している。
		コンビニ（経営者）	・主婦や年配の客が増加しており、惣菜類などをよく買われる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・地元企業が新たに新店出たことに伴い改善している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・周りの状況からは景気は回復に向かっているように感じるが、飲食においては、徹底した低価格を打ち出すか、若者のトレンドになるような商品、空間の開発が急務である。
変わらない		住宅販売会社（経営者）	・今月は成約の反動があったものの、新規マンションの発売により、引き続き販売額、販売数共に増加が見込める。
		百貨店（担当者）	・現状の来客数の減少は競合店の開店による一過性の影響値であり、現在開店4週目ではあるが、当社の一部のカテゴリーについては回復傾向がみられる。客単価、秋物を中心とした商品の動向から今後の景気については特に大きな変化はない。
		百貨店（総務担当）	・依然として消費者の財布のひもは固く、今後の厳しさが予想される。
		スーパー（経営者）	・過去2、3か月の状況からみても、販売量、来客数、客単価ともに横ばい状況で推移している。今後3か月も同様な状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・これから冬の商戦に入っていくが、今までと同じ事をしていくようでは成果は上がらない。新しい提案ができる店と出来ない店ではかなり差がでてくる。
		家電量販店（副店長）	・これから年末商戦を迎えるため、客の購買が大きなセールや目玉商品に集中し、販売量は増加するが客単価は上昇しない。
		高級レストラン（副支配人）	・3か月前と比較すると多少の変化は見られるが、依然として先行きは不透明である。これから開催される祭りやイベントで、どれだけ集客ができるかにもかかっているが、去年及び一昨年の同月期と比べてもあまり増加傾向はないことから今後も特に変化はない。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・宿泊部門では順調に推移するが、宴会・料飲部門では、3か月後も大きな動きはない。
		旅行代理店（経営者）	・先行き不安が依然として払拭されていない為、変わらない。
		観光名所（職員）	・昨年7月より実施している常設イベントが認知されてきたことから、来客数が増加傾向にある。
やや悪くなる		コンビニ（エリア担当）	・当社のロイヤルユーザーである30～40代男性の来客数が今年に入り下落傾向にあり、この傾向が今後も続く。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・来客数は減少し、同業者の新店出たことから競争が激化する。業界全体の売上も打ち止めからダウン傾向にあるため、客争奪のためのサービス、販売促進等の経費予算を増やす必要があるがその余裕がないというのが現状である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・金融機関の不良債権処理等の問題で株価が下落し、経済がかなり緊迫している様子が見られることから、個人消費は今後ますます落ち込む。
		住宅販売会社（従業員）	・客の動きにも関連するが、現状の不良債権処理の中で、銀行の貸し渋りが表面化してくる。住宅を新築するにあたって、土地を所有していれば良いが、土地を購入し住宅を建てるという場合は多額の金額を公庫等や銀行から借り入れなければならないことから、貸し渋りという状況は厳しく、建てたい気持ちはあるが借りられない、借りる額が少ないなどから新築の依頼は縮小していく。
悪くなる		商店街（代表者）	・外周部の大型店に客が流れており、中心商店街では観光客相手の販売店がやや増えつつあるがそれも絶対数を越した場合は客割れ現象を起こし共倒れになる可能性があることから、中心商店街は非常に危機的状況にある。
企業	良くなる	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
動向 関連	やや良くなる	通信業（従業員）	・一部に顧客離れがあるものの、他の顧客からの継続案件や新規顧客からの案件がほぼ確定してきたため、2～3か月後は収支的にはかなり安定する。問題は人的リソースであるが、ノウハウや技術を要求する部分でありその解決は簡単ではない。
	変わらない	建設業（経営者）	・受注量は増加傾向にあり、受注単価は低下傾向にあるため、トータル的にはまだまだ厳しい。
		輸送業（営業担当）	・農産物の出荷状況にもよるが、現在のところ特段変わる様子はない。
		通信業（営業担当）	・客の低価格志向は変わらない。
	やや悪くなる		
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・大型店舗の開店により雇用が拡大され、景気が上向く。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在非常に厳しい状況だが今後良くなる材料もみあたらない。得意先が単価を非常に低く設定してきたりという状況があり、依頼数は増えても、業績が上がるという態勢に今はないため、しばらくは現状のまま推移する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・失業率が9%代という現状を改善しないと、今後の好転は期待できない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・現状の金融状態が改善しないと、これ以上の好転は期待できない。
職業安定所（職員）		・4月～9月期の廃止事業所は316件で月平均53社と、平成13年度の月平均37社よりも43.2%増加しており、被保険者資格喪失件数は2,863人で前月比で1.4%増、対前年比では21.4%増となっている。また、今年の完全失業率は9.4%と前月よりも0.4ポイントと悪化し、依然として高水準で推移している。	
悪くなる	-	-	